



和と力

5月号

売布小学校
ホームページ



令和8年(2026年) 4月30日

宝塚市立売布小学校

校長 安藤 いずみ

青葉や若葉が目心地よい季節となり、新学期が始まってから1カ月が経ちました。私が売布小に帰り、3年生以上の子どもたちと再会して感じることは、この1年間の子どもたちの成長です。昨年1年間、子どもたちが頑張ってきたことを実感しています。今年度も、始業式や入学式を始まりとして、どの学年も、新しい学年で新しいことに取り組む充実した1カ月だったのではないのでしょうか。一方で、これまで頑張った分の疲れが出てくる時期でもあります。暑くなる中で運動会の練習も始まります。体調や心の調子を整え、今月も着実に学習に取り組んでほしいと思います。

年度始めに、『令和8年度(2026年度)の教育課程等について』というお手紙を配布させていただきました。そこでお伝えしたように、文部科学省が定める標準授業時数を確実に確保しながら、子どもたちにとっても教職員にとってもよりよいカリキュラムマネジメントを工夫し、実施してまいります。そして、授業改善等に取り組むために、教職員の研究・研修体制も充実させてまいります。

1年生を迎える会

1年生の入学を在校児童が主体となってお祝いする「1年生を迎える会」を実施しました。2年生から6年生までがそれぞれの学年ごとに、1年生が学校で気持ちよく学習や生活をするための大切な約束を寸劇などで伝えました。1年生もこの1カ月で多くのことを学びました。できることが増えてきていますが、まだ初めてのことで戸惑ったり困ったりすることもあります。そんな時、頼りになるのが、やっぱり6年生。1年生に伝えてくれた通り、優しく、素早く駆け付けて、助けてくれることを期待しています。



売布小キャラクター「めふしば」について



校内の様々なところで見かけるこの柴犬のキャラクター、名前は「めふしば」と言います。昨年、売布小学校の卒業生である方が、卒業制作として心を込めて制作されました。児童・保護者・教職員から得た多くの声が反映され、売布小学校が大切にしてきた学びやつながり、そしてこれからも受け継がれていく思いが込められています。後ろの袋には「今まで学んだこと」を入れていて、その袋を使って勉強に悩むみんなを助けてくれるそうですよ。これからも末永く多くの方にかわいがっていただければと思います。

地球は宇宙に浮かぶ救命ボート

先日、宇宙船「オリオン」が地球からの最遠到達距離の記録を56年ぶりに塗り替えたことは記憶に新しいことと思います。リード・ワイズマン船長は「人間という存在と、地球という惑星にいることは特別なことだ」と語り、クリスティーナ・クック飛行士は「地球は宇宙に静かに浮かぶ救命ボートのようなだった。」と話しました。世界は様々な困難を抱えていますが、このニュースは、私たちにあらためて地球という視点で見る大切さを教えてくれます。売布小学校も例えるなら「みんなで進む救命ボート」。教職員一同、力を合わせて、児童とともに未来に向かって進みます。どうぞよろしくお祈りします。



Photo by NASA